

物価高騰

区民のくらし・営業は

大ピンチ

財政力活かし支援を!

2025年度の予算案は特別区税収入だけで前年度より17億円増の見込み。基金残高も2023年度決算で約620億円、安定した財政運営が行われています。さらに都区財調の協議で23区の率が0.9%上がっており5億2000万円の増収となります。

区は、これまで物価高対策のために基金を取り崩し、経営力強化支援金などを実施してきました。他の自治体では、来年度予算案で様々な新施策を打ち出しています。

ところが、区の予算案では、長引く物価高騰から区民生活を守るための目玉政策は見えず、**区長は「がまん的一年」**と区財政の持続性を第一に考え、区民生活の厳しさを顧みる姿勢が、予算からは読めません。日本共産党は、区民生活の実情を伝え、物価高騰対策の支援を求めましたが、拒否しました。引き続き粘り強く対策を求めています。

区民の願いを
かたちに

予算修正案・条例を提案

日本共産党区議団は、物価高騰が続くなか区民生活を守るため2025年度予算案に対する修正案と5つの条例案を提案しました。修正案の合計額は3億3368万2千円で、2025年度一般会計予算の0.17%増額です。

- 予算修正案（※青字は条例も提案）
- 区施設に生理用品配置

●介護福祉人材確保支援

●エアコン購入助成(熱中症対策)

●生活保護世帯へ夏の見舞金支給

●補聴器支給・購入支援を2倍に

●国民健康保険の18歳までの子どもの均等割を半額

●がん検診無料化

●ねずみ対策の拡充

●公営住宅落選者への家賃助成

●木造建物耐震化建て替え・除却支援

予算修正案と条例提案の採決結果

(●提案者 ○賛成 ×反対)

	共産	自民	公明	新宿会	民無ク	維新	れいわ	参政	現役	新立憲
★予算修正	●	×	×	×	×	×	—	×	×	—
冷房機購入助成	●	×	×	×	×	×	○	×	×	×
介護・福祉人材の確保・定着奨励金	●	×	×	×	×	×	○	×	×	×
がん検診の無料化	●	×	×	×	×	×	○	×	×	×
6～18歳の国保料均等割半額助成	●	×	×	×	×	×	●	×	×	×
居住支援家賃助成	●	×	×	×	×	×	○	×	×	×

共産＝日本共産党新宿区議会議員団、自民＝自由民主党新宿区議会議員団、公明＝新宿区議会公明党、新宿会＝新宿未来の会、民無ク＝立憲民主党・無所属クラブ、維新＝日本維新の会新宿区議団、れいわ＝れいわ新選組新宿、参政＝参政党新宿まなびとまもりの会、現役＝現役世代に優しい新宿、新立憲＝新宿区議会立憲フォーラム
※今回の予算特別委員会にはれいわ新選組と新立憲フォーラムの会派は入っていません

区立幼稚園を
守れ!

2025年度は、区立幼稚園では12園中5園で3歳児クラスの人数が集まらず休学級となりました。

預かり保育の延長、給食の実施を!

日本共産党は、保護者の声を受け、学級編成基準(8人)の引き下げ、預かり保育の時間延長、給食の実施等を求めました。教育委員会は、給食については「研究する」と答弁しました。

修学旅行費等の
無償化を!

2025年度の予算で、葛飾区、墨田区、荒川区、品川区などは修学旅行や移動教室の費用、港区、台東区、江戸川区、荒川区など学用品費などの無償化方針を示しています。

子育ては社会全体で支えるべきという観点から、私たちは新宿区でも副教材費や修学旅行費等の無償化をすべきではないかと質問しましたが、区は経済的理由で支援が必要な家庭には就学援助があるなどと保護者負担の無償化を否定しました。

